

第142号

編集・発行

2024・1・30

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL:0179(22)0262

FAX:0179(23)4146

さんのへ 社協だより

令和6年 新年号

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!

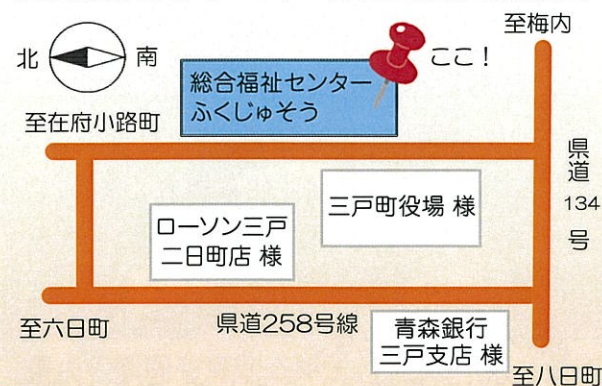


斗川児童館と老人クラブの交流 ジャンけん列車などレクを楽しみました (R5.12.25 役場斗川支所)

■おもな内容

	ページ
○新年のごあいさつ	2
○子どもほのぼの交流員の取組み	3
○第52回三戸町社会福祉大会	4
○子ども福祉スクール 各種お知らせ	5
○高齢者と子どもの交歓会 シルバー人材センター オレンジカフェ通信ふくじゅそう	6
○福祉団体トピックス	7
○各種おしらせ	8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

令和6年 新年のごあいさつ



三戸町社会福祉協議会
会長 藤村 立夫

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には健やかに新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より地域福祉事業の推進に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、様々な場面でコロナ前の賑わいが戻ってまいりました。また、スポーツや文化に目を向けると、3月には野球の国別対抗戦WBCで大谷翔平選手らを擁する日本代表が3大会ぶりの世界一に、10月には将棋の藤井聡太九段が史上初の8冠独占を達成するなど、各方面での明るい話題に大いに元気づけられた一年だったのではないのでしょうか。

本会としても、川柳作家の渋谷伯龍氏を講師に招いた社会福祉大会をはじめ、夏休み期間を活用した小中高生対象のボランティアスクール、世代間交流を目的とした高齢者と子どもの交歓会といった、コロナ禍で中止を余儀なくされた行事を4年ぶりに開催でき、多くの笑顔を間近で見ることができました。

また、赤い羽根共同募金と11ぴきのねこのコラボレーションピンバッジの寄附金を財源とした子育て支援の取組も更に拡充し、4月には入学祝い品贈呈事業として新入学の小中学生全員に町教育委員会を通じて図書カードを贈呈しており、これから3月にかけては多子世帯等を対象とした大学入学共通テストの検定料助成事業を開始してまいります。

地域の担い手不足や生活困窮世帯の増加などコロナ禍を経て様々な福祉課題が顕在化してきておりますが「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の基本理念の元、課題に向き合い、誰一人として取り残さない地域福祉の推進に役職員一丸となって取り組んでまいりますので、本年も皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

子どもほのぼの交流員の取り組み

11月27日(月)、子どもほのぼの交流会を開催し、三戸小学校の4年生児童47名と地域の高齢者8名が軽スポーツなどで交流を深めました。この交流会は福祉教育の一貫として毎年開催しているもので、事前のガイダンスで高齢化の現状などを学んだうえで、子どもたち自身がアイデアを出し合いました。今年度は演劇発表のほか、北欧生まれのモルックとパラリンピックでお馴染みとなったボッチャでの交流を企画。

当日は交流の内容はもちろん、お互いの名前が分かるようにといつも以上に大きく作ってくれた名札や折り紙のチューリップのプレゼントなど「喜んで欲しい」という思いが随所に感じられる交流会となりました。

～子どもほのぼの交流員とは～

地域の高齢者等を見守る「**ほのぼの見守りネットワーク事業**」は平成7年に三戸町からの委託事業として始まりました。当初からボランティアである、**ほのぼの交流協力員**の皆さんを中心に、町内会長や民生委員の皆さんの協力の下で実施しています。

子どもほのぼの交流員事業は、**ほのぼの交流協力員の“子ども版”**として平成13年度に当時の三戸北小学校でスタート。現在は三戸小学校に活動の場を移し、福祉の心を育てることを目的に毎年、高齢者との交流を行っています。



事前ガイダンスで交流の内容を話し合う様子。「高齢の方は走るのが大変じゃない?」「投げるだけだし、いいねそれ!」など、活発な意見交換がされました。

ガイダンスを踏まえて【相手のペースに合わせる】ということを大切に、高齢者と一緒に楽しめるよう、計画が立てられました。



フェスティバルでも披露した演劇「まごころレストラン」を再演。泥棒に身ぐるみを剥がされ、お金も無くそれと分からない姿になった王様を温かい食事でもてなし、やがてその親切が自分たちに返ってくるまでの様子を演じました。参加者からも「たいしたもんだ!」と大きな拍手が送られました。



フィンランド生まれの【モルック】手軽さとゲーム性の高さから近年注目が高まっています。本来は木製ですが、今回は屋内用に子ども達が紙コップ等で自作したものを使用。



得点の瞬間を見守る様子。味方と一喜一憂するのもチーム戦の醍醐味、モルック・ボッチャどちらも運の要素があり、一投で誰もが主役になりました。

第52回三戸町社会福祉大会を開催しました

令和5年11月10日(金)、第52回三戸町社会福祉大会を三戸町民体育館で開催し、福祉関係者をはじめ約180名にご出席いただきました。コロナ禍の影響で令和元年度以来、4年ぶりの開催となったこの日は、弘前市在住の方言研究科で川柳作家の渋谷伯龍氏を講師に迎えての記念講演と地域福祉の発展に貢献された方々への表彰を行いました。

式典に先駆けて、三戸保育園の園児の皆さんがNEWソーラン節を披露し、大会に華を添えました。



講師の渋谷伯龍先生(写真左)「くよくよも一生 わははははも一生」と題した講演は、ユーモアに溢れながらも心が温まるお話でした。方言クイズは回答者に景品も(写真右)



藤村立夫会長(左)から表彰状を受け取る社会福祉協議会評議員の中村美枝子様。



受賞者を代表し足澤信行様が、これを励みに一層の福祉向上に努めたいと謝辞を述べられました。



大会宣言案を提案する大庭礼子副会長。会場の皆様からの大きな拍手で宣言は承認されました。



式典のオープニングを飾った三戸保育園の子どもたち。力強く元気いっぱいに踊ってくれました。

第52回三戸町社会福祉大会 受賞者名簿(敬称略)

ほのほの交流協力員

沢上 ツル子

福祉団体(三戸地区更生保護女性会)

山内 小百合

社協評議員

足澤 信行

中村 美枝子

寄附に対する感謝状の贈呈

大友会

仲良し会エコタワシづくり

立正佼成会八戸教会 三戸支部

第73回三戸郡社会福祉大会 受賞者名簿(敬称略)

令和5年7月に五戸町で開催された、第73回三戸郡社会福祉大会において表彰を受けた皆様をご紹介します。

受賞者の皆様はそれぞれの立場で多年に渡ってご活躍して来られた方々です。そのご功績に敬意と感謝の意を表するとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

民生委員児童委員

奥山 登喜子

田中 愛一郎

伏見 しげ子

二又 高志

山口 博子

社会福祉法人施設職員

柿内 麻利衣 (ミューズ保育園)

久保 桂子 (社会福祉協議会)

子ども福祉スクールの様子

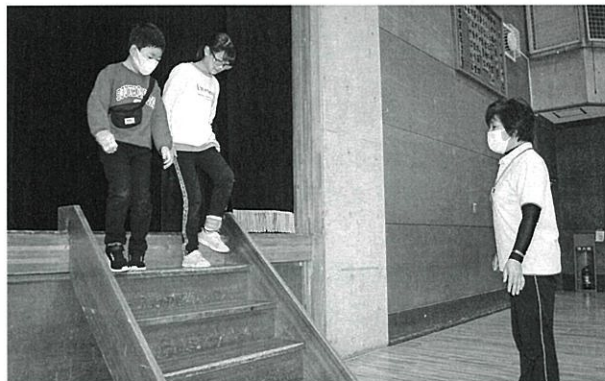
11月13日(月)、子ども福祉スクールを開催し、三戸小学校の3年生児童44名が疑似体験を通じて高齢者福祉について学びを深めました。

子どもたちは眼鏡や重り、手袋などで身体の動きを制限されるなかで、階段の昇り降りや文字を書くといった日常動作や車椅子の乗車体験を通じて高齢者の身体的な特徴を疑似的に体験しました。



利き手にビニール手袋をし、人差し指と中指、薬指と小指をそれぞれテープで固定することで手先の器用さが低下した状態を再現。

写真は折り紙を折る様子



利き手側の足首に重りを装着することで、筋力が低下した状態を再現。眼鏡で視野も狭めたうえで階段を降りると「見えない！怖い！」と、身をもって体験しました。

除雪ボランティア募集中！

雪かきが困難な高齢者世帯等の除雪を担う、ボランティアの除雪支援員を募集しています。除雪を必要とする人が安心して過ごせるよう、是非ともご協力をお願いします。

■年齢性別: 不問

■活動期間: 令和6年3月末まで

■報

酬: 1時間 1,000円

■登録方法: 社会福祉協議会までご連絡ください

■内 容: 利用登録者宅の玄関から生活道路までの区間の除雪作業

15センチ以上の降雪時に出勤し、大人が並んで歩ける程度の幅を確保



高齢者と子どもの交歓会

12月25日(月)、世代間交流を目的とした高齢者と子どもの交歓会を、役場斗川支所で4年ぶりに開催しました。

当日は地域の老人クラブ会員など高齢者17名と斗川児童館の子ども12名が参加。じゃんけんで具材を勝ち取り、いち早く鍋の完成を目指すチーム対抗戦の【すき焼きじゃんけんゲーム】をはじめとしたレクリエーションで交流。交歓会の最後には子どもたちへのクリスマスプレゼントにお菓子を贈るなど、笑顔が溢れる交歓会となりました。



じゃんけんの度、方々で歓喜や落胆の声

シルバー人材センター

シルバー人材センターでは10月2日(月)、就業時の安全確保を目的とした研修会を開催し、会員12名が参加、事故事例や作業時の危険ポイントについて学びを深めました。

10月18日(水)には、社会貢献を目的に全国一斉に行われているシルバーの日(10月の第3土曜)に合わせて、会員7名が関根ふれあい公園の清掃活動を行いました。



研修では虫除け効果がある"オニヤンマ"ブローチの製作体験もしました

オレンジカフェ通信 ふくじゅそう

毎月第3火曜日に定期的で開催しているオレンジカフェふくじゅそう、今回は9月から12月にかけて開催した様子をお届けします。

■オレンジカフェとは

地域住民をはじめ、認知症の人とその家族、色々な悩みを持つ人など、**どなたでも安心して、おしゃべりや専門家への相談ができる場所です。**

認知症になっても安心して暮らせる地域をつくりたい、オレンジカフェという名前にはそうした願いが込められています。



←9月19日

【高齢者の栄養について】
三戸町役場 栄養士 中嶋史子 氏

10月24日→

【口呼吸・鼻呼吸のはなし】
八戸西健診プラザ 医師 高橋格 氏



←11月21日

【パーソナルカラー体験講座】
色とアートのアトリエfeel 浅川ふさこ 氏

12月19日→

【社協職員とボランティアによる
手づくりのクリスマスお楽しみ会】



来月以降の予定: 2月20日(火) 3月19日(火) ふくじゅそう地下1階 14:00~15:00

福祉団体トピックス

三戸町シニアクラブ連合会

第24回三戸郡老人グラウンドゴルフ大会

三戸郡老人クラブ連合会主催の第24回三戸郡老人グラウンドゴルフ大会が10月20日(金)に田子町の農山村広場で行われ、郡内6町村から選手72名が参加し、互いの技量を競いました。

三戸町からは9月13日(水)に開催した三戸町シニアグラウンドゴルフ大会の成績上位者12名が参加。個人の部では男女合わせて5名が入賞し、各町村の上位3名の合計スコアで争われる町村の部においても、2位の階上町とわずか1打差の最終スコア185打で見事優勝を飾りました。

同大会での優勝は3大会振り3度目、小雨がばらつくなかでしたが、そんなことも吹き飛ばす、嬉しい嬉しい大会となりました。

三戸町が接戦を制し優勝！



表彰式後に記念撮影。僅差での優勝に驚きと喜びが溢れました。

【結果】

- 町村の部：優勝
- 個人男子の部 ※()内は順位
田子利丈(2) 小山内武(4)
- 個人女子の部 ※()内は順位
奥京子(1) 杉中ミエ(3) 飯豊トシ(6)

三戸郡芸能発表大会が4年振りに開催

三戸郡老人クラブ連合会主催の三戸郡芸能発表大会が11月22日(水)に新郷村の美郷館で開催され、各町村の会員が自慢の芸を披露しました。

三戸町からは16名が参加。このうち7名が歌や踊り計4演目を発表し、前田美三穂さんが優秀賞を獲得しました。

県芸能発表大会への出演が決まる最優秀賞は逃したものの、4年振りの大会を心から楽しんでいました。



踊り【裏町風来坊】を披露した前田美三穂さん。

全国老人クラブ連合会会長表彰を受賞【優良郡市区町村老人クラブ連合会】

全国老人クラブ連合会主催の第52回全国老人クラブ大会が11月8日(水)から2日に渡って秋田県秋田市で開催され、当連合会が優良郡市区町村老人クラブ連合会として表彰を受けました。

この受賞を励みに、高齢者の社会参加の促進をはじめとした地域の担い手としての老人クラブ、その期待にしっかりと応えて参ります。



入会を希望される方はお住まいの地区の老人クラブまたは社会福祉協議会にお問い合わせください

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。

(令和5年6月1日～令和5年12月31日まで)

寄附金の部

青森県市町村職員年金者連盟 様	5,000円
妙光寺 様	35,000円
立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様	10,000円
大友会 様	50,000円
三戸町職員退職者福祉会 様	5,000円
三戸中央病院売店 様	3,586円

物品の部

赤塚立平 様	商品券
立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様	米
三戸ライオンズクラブ 様	食料品

寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。



大友会様



ライオンズクラブ様

福祉安心電話サービス

福祉安心電話サービスはご自宅に専用の機械(安心電話)を設置し、発作などの緊急時にボタンひとつで通報できるサービスです。

緊急通報は24時間対応の中央センターに連絡が行き、必要な手配をします。

- 利用料はすべて無料ですが、機器の破損や紛失時には実費を頂戴する場合があります。
- 固定電話の回線を契約されていない方は利用できません。
- 緊急通報時に駆けつけてくれる協力員が3人必要です(地区の民生委員含む)

心配ごと相談所

心配ごと相談所では、相談員が心配ごとや困りごとの相談に対応しています。ひとりで悩まず、どんなことでもご相談ください。

- 開設日…毎月最終水曜日
- 時 間…午後1時から午後3時
- 場 所…三戸町総合福祉センター
ふくじゅそう3階 小会議室3

今後の開設日

(4月以降の日程は3月号に掲載します)

2月28日(水) 3月27日(水)

予約不要ですが、ご予約の方が優先となります

ふれあい交流サロン助成事業 ～サロンであなたの地域を笑顔にしませんか～

社協ではふれあい交流サロンを開催する団体に助成を行っています。開催に向けたアドバイスをはじめ、チラシの作成、レクリエーション用具の貸し出し、職員の派遣など、サロンの開催を全面的にお手伝いしますので、一緒にサロンを作っていきましょう。

■ふれあい交流サロンとは

皆さんの身近にも、高齢の方や小さなお子さんがあるご家庭など、一人で心配ごとや悩みごとを抱え、寂しい思いをしている方はいませんか？

ふれあい交流サロンは、おしゃべりやレクリエーションを通じて、身近な住民の方どうしの『仲間づくり』や『居場所づくり』を進める活動です。



■助成金額：開催1回につき最大5,000円(各年度15,000円を上限とします)

■申請手順：申請書を提出→サロンを開催→報告書・請求書を提出

助成金は請求書等受領後に送金します

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146